

感性を数値化して暮らしに活用

北摂情報文化懇話会（事務局・神戸新聞北摂総局）は13日、神戸市北区大沢町の神戸ホテルフルーツ・フラワーで第224回例会を開きます。関西学院大学理工学部の長田典子教授「写真Ⅱを迎え「感性を数値化して暮らしに活用」と題して語っていただきます。

人工知能（AI）の急速な発展により、自動運転技術や接客ロボットの登場などわれわれの暮らしが大きく変わりつつあります。こうした中、人の感性を数値化、定量化して商品開発や日々の生活に役立てていくという取り組みも進んでいます。専門である感性情報学の研究の最先端をわかりやすく紹介、解説していた



関学大・長田教授講演 13日に北摂情文懇

できます。

長田さんは大阪府生まれ、京都大学理学部卒。三菱電機に入社した後、大阪大学大学院基礎工学研究科に進み1996年に博士後期課程修了。2003年に関西学院大学理工学部情報科学科助教となり、07年から同学部人間システム工学科教授を務めています。共同研究プロジェクト「感性に基づく個別化循環型社会の創造」で14年度グッドデザイン賞を受賞。

講演は午後0時40分ごろから。会員以外の方の聴講は2千円。懇話会の入会も随時受け付けています。事務局 ☎079・563・2256